



岸 防 衛 大 臣 訪 沖



玉城沖縄県知事（右）との面談



松川宜野湾市長（右）との面談



渡具知名護市長（右中央）及び久辺三区長との面談

岸防衛大臣が、令和2年10月21日から22日の日程で、大臣就任後初めて沖縄を訪れました。21日は那覇航空基地等の視察及び訓示、平和祈念公園において戦没者墓苑に献花を行い、平和の礎等を視察しました。翌22日には、渡具知名護市長及び久辺三区長との面談、クラーディ四軍調整官との面談、松川宜野湾市長との面談、玉城沖縄県知事との面談を行い、帰京しました。

目 次

CONTENTS

<p>岸防衛大臣訪沖・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1</p> <p>加藤官房長官訪沖・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2</p> <p>新・金武地区清掃センターが供用開始・・・・・・・・・・ 3</p> <p>令和2年度防衛大臣感謝状の贈呈について・・・・・・・・ 4</p> <p>優秀工事等顕彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5</p>	<p>県内企業の工事受注機会確保と令和元年度建設工事契約実績・・・ 5</p> <p>普天間飛行場代替施設建設事業について・・・・・・・・・・ 6</p> <p>令和3年度概算要求における沖縄関係経費・・・・・・・・・・ 7</p> <p>県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施への 取り組み状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8</p>
--	---

加藤官房長官訪沖

加藤官房長官が、令和2年10月9日から10日の日程で、官房長官就任後初めて沖縄を訪れました。10日午前、陸上自衛隊のヘリに搭乗し、上空より沖縄県内の米軍施設・区域を視察し、平和祈念公園において、戦没者墓苑に献花を行い、平和の礎等を訪れました。

午後には、渡具知名護市長及び久辺三区長との面談、宜野湾市役所の屋上から普天間飛行場視察及び松川宜野湾市長との面談後、玉城沖縄県知事との面談を行いました。



玉城沖縄県知事（右）との面談



渡具知名護市長（右から3人目）及び久辺三区長との面談



平和祈念公園（平和の礎）視察



松川宜野湾市長（右）との面談



宜野湾市役所屋上にて松川宜野湾市長（長官左隣）から説明

新・金武地区清掃センターが供用開始

この度、金武地区消防衛生組合において新しい金武地区清掃センターが竣工し、試運転を経て令和2年9月より供用開始されました。

本施設は、金武地区（金武町及び宜野座村）及び防衛施設から排出される廃棄物を継続的かつ安定的に受け入れ処分するため、同組合が防衛省の防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金（補助額約33億円、補助率2/3）を活用して新たに整備したものです。

これにより、ごみの減量化及び地域の環境保全、ひいては、金武町及び宜野座村にお住まいの皆様方の生活環境の向上が期待されます。

今後とも、防衛省では「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律(昭和49年法律第101号)に基づき、防衛施設の設置又は運用等による周辺住民の方々や地域社会への影響の緩和に資する各種施策を行い、防衛施設と周辺地域との調和を図るよう努めてまいります。



金武地区清掃センター外観



中央制御室



焼却施設



リサイクル施設

設備方式

■焼却施設

- ・処理能力 : 32 t / 8h (16t/8h×2炉)
- ・処理対象物 : 可燃ごみ リサイクル施設からの選別可燃残渣
- ・処理方式 : 機械化バッチ燃焼式ストーカ炉方式(水噴射方式)

■リサイクル施設

- ・処理能力 : 6.3 t / 5h (不燃・粗大5t/5h、缶0.8t/5h、ペットボトル0.5t/5h)
- ・処理対象物 : 不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ
- ・処理方式 : ヤード受ホッパ投入方式、破砕機(低速回転式・堅型回転式)

金武地区消防衛生組合からの声

金武地区消防衛生組合衛生課長の安富祖智です。この度は地域の皆様から待ち望まれておりました新しい金武地区清掃センターが、関係者の皆様のご理解ご協力のもと立派に完成しました。本施設は、安全かつ合理的な運用を目指し「焼却施設」「リサイクル施設」「ストックヤード」を一体化し、集中管理できるようにしました。また、バリアフリーや施設見学設備も整備されています。この新しい施設のもとに地域の環境保全の一翼を担えるよう努めて参ります。

令和2年度防衛大臣感謝状の贈呈について

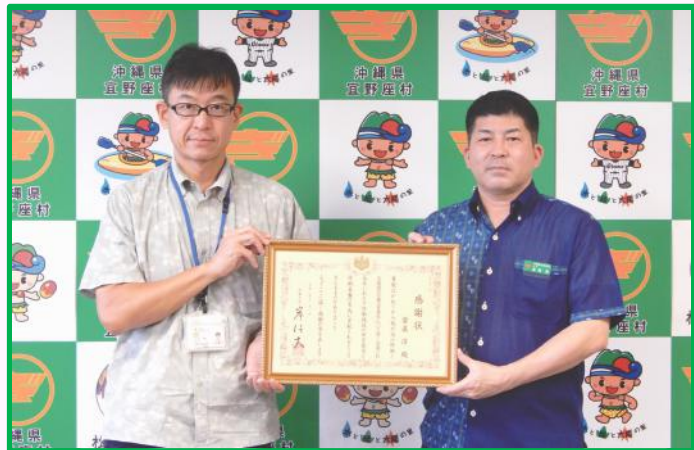
防衛省においては、例年、11月1日の自衛隊記念日に合わせて、防衛省・自衛隊の活動や事務の遂行に著しい功労があった方に対して、防衛大臣より感謝状を贈呈しています。

今年度、沖縄防衛局管内においては、防衛施設の安定的使用に多大なご協力を賜った金武町長ほか4名の方に感謝状が贈呈され、当局、村井企画部長より感謝状を伝達させて頂きました。

沖縄防衛局としては、これら5名の方のご協力・ご理解に深く感謝するとともに、今後とも、引き続き、地元の皆様のご理解とご協力の確保に努めてまいります。



仲間金武町長



当真宜野座村長



長浜恩納村長



上原沖縄県漁業協同
組合連合会代表理事会長



座喜味北谷町漁業協同
組合代表理事組合長

優 秀 工 事 等 顕 彰

沖縄防衛局では、当局が発注する建設工事及び業務のうち、成績評定点の高い工事及び業務の中から、目的物の出来形又は品質の優れているものであって、他の模範とするにふさわしいものを選定し、調達部長から顕彰しております。令和元年度に完成・完了した事案の中から、17件の工事及び4件の業務を選定し、9月9日に丸山調達部長が顕彰しました。

顕彰制度は、入札参加者の受注意欲を高め、建設工事及び業務目的物の品質確保を図る等、施設取得の円滑な推進に資することを目的としており、顕彰された実績は、総合評価落札方式における企業の施工能力や技術者の能力の評価項目において加点することとしています。

今後とも当局が発注する工事及び業務の入札に積極的に参加していただきますようお願いいたします。

○優秀業務

業 務 名	受 注 者
陸自宮古島(30)訓練場地区現況調査	日本工営㈱
トリエ(30)磁気探査業務(その1)	㈱南西技術
牧補(30)磁気探査業務(その11)	㈱沖縄中央エンジニアリング
シュワブ(H30)水域生物等調査	いであ㈱

○優秀工事

工 事 名	受 注 者
瑞慶覧(H30)施設技術部地区通信線路等移設通信その他工事	日本コムシス㈱
瑞慶覧(H30)施設技術部地区污水管等移設土木工事	㈱幸地建設
嘉手納(28)家族住宅(508)新設機械工事	㈱クラウン工業
嘉手納(29)家族住宅(508)新設機械工事(その1)	沖縄水質改良㈱
嘉手納(29)家族住宅(508)新設機械工事(その2)	㈱クラウン工業
嘉手納(29)家族住宅(508)新設電気その他工事	沖電水工事㈱
陸自宮古島(30)医務室等新設建築工事	大勝建設㈱
シュワブ(H27)講堂(0512)新設建築工事	㈱大城組
瑞慶覧(H29)家族住宅新設造成等工事(その3)	㈱國場組
普天間(31)雨水排水施設(1304)整備土木その他工事	南成建設・T.N.O建設共同企業体
陸自宮古島(30)隊庁舎(C)等新設土木工事	㈱下崎建設
陸自宮古島(29)舗装工事(その3)	㈱翔南建設
陸自宮古島(29)舗装工事(その4)	㈱沖満土建
陸自宮古島(29)駐車場等舗装工事	共和産業㈱
嘉手納(28)家族住宅(508)新設電気その他工事	三協電気工事㈱
陸自宮古島(30)隊庁舎(C)等新設機械工事	三栄工業㈱
嘉手納(30)家族住宅(508)新設機械工事	不二宮工業㈱

県内企業の工事受注機会確保と令和元年度建設工事契約実績

沖縄防衛局が発注する建設工事は、原則として一般競争入札によることとし、経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素も考慮する総合評価落札方式を適用しています。

また、県内企業の受注機会拡大の施策として、一定額未満の建設工事について地域評価型の総合評価落札方式を採用し、地産品の使用状況や地元企業の採用状況などの地域貢献度を評価項目とするほか、分離・分割発注の検討、競争参加資格の緩和、地域優良企業活用JV、複数工事の一括審査及び国の工事成績に加え地方公共団体の工事成績も評価するなどの施策を実施しているところです。

当局の令和元年度における建設工事契約実績は、総契約件数85件、総契約金額約521億円でした。このうち、県内企業の契約実績は、件数で77件、金額で約289億円、全体に占める割合は、件数で約91%、金額で約55%となっています。

なお、令和元年度は契約件数で県内企業の受注率が前年度より高くなっており、引き続き、関係法令の枠組みの中で県内企業の工事受注機会確保に努めて参ります。

県内企業の皆様の積極的な入札参加をお待ちしています。

(参考) 過去3年間における建設工事受注実績

		平成29年度			平成30年度			令和元年度		
		県内企業	県外企業	計	県内企業	県外企業	計	県内企業	県外企業	計
契約件数	総契約件数(件数)	100	19	119	120	19	139	77	8	85
	県内企業の受注率	84%			86%			91%		
契約金額	総契約額(億円)	374	439	813	424	239	663	289	232	521
	県内企業の受注率	46%			64%			55%		

注：1. 県内企業を含む建設共同企業体の契約件数は県内企業に含み、県外企業のみ建設共同企業体の契約件数は県外企業に含む。建設共同企業体の契約金額は県内企業・県外企業の出資比率で按分。
 2. 計数は、当初契約額によるものである。また、四捨五入によっているので計と符合しないことがある。
 3. 建設工事には、提供施設の管理、緩衝地帯の整備等に係る工事を含む。

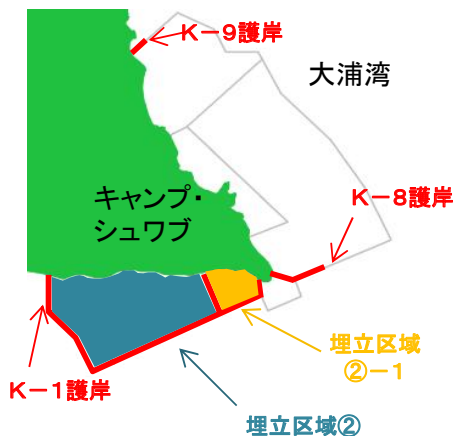
普天間飛行場代替施設建設事業について

キャンプ・シュワブにおける普天間飛行場代替施設建設事業につきましては、平成29年11月から辺野古側の護岸工事に着手し、平成30年12月に埋立工事に着手しました。また、令和元年6月にはK-8護岸の一部を概成させ、K-9護岸に加え、K-8護岸からの埋立材搬入を開始し、埋立作業を加速化させました。さらに、本年9月には埋立区域②-1の埋立工事が海水面から3.1m（一部護岸沿いは4.0m）まで完了しました。

普天間飛行場の辺野古移設をめぐる問題の原点は、市街地に位置し、住宅や学校で囲まれ、世界で一番危険とも言われる普天間飛行場の危険性の除去と返還です。当局としましては、今後とも、普天間飛行場の一日も早い全面返還を実現するため、引き続き、作業の安全に十分留意した上で、関係法令に基づき、自然環境や周辺住民の方々の生活環境に最大限配慮し、辺野古移設に向けた工事を進めてまいります。



(令和2年10月撮影)



(令和2年10月撮影)
埋立区域②-1 埋立完了(3.1mまで)



(令和2年11月撮影)
K-1護岸 消波ブロック施工状況

環境監視等委員会（第28～29回）を開催



本年9月8日（第28回:ホテルサンパレス球陽館）及び11月17日（第29回:ネストホテル那覇）に「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境監視等委員会」を開催しました。

同委員会ではレッドリストサンゴの生息状況などについて当局から説明を行い、質疑応答が行われました。

普天間飛行場代替施設建設事業の実施に当たっては、これまでも同委員会の指導・助言を踏まえ、適切な環境保全に努めてきたところであり、今後とも引き続き、同委員会の指導・助言を得ながら適切に進めてまいります。

令和3年度概算要求における沖縄関係経費

(単位：億円、%)

事 項	令和2年度 予 算 額	令和3年度 概算要求額	対前年度 増△減額	対前年度 伸 率
1. 基地周辺対策経費	< 270 > 284	< 274 > 253	< 4 > △ 31	< 1.5 > △ 11.1
住宅防音	< 144 > 147	< 122 > 123	< △ 23 > △ 24	< △ 15.6 > △ 16.5
周辺環境整備	< 126 > 137	< 153 > 130	< 27 > △ 7	< 21.1 > △ 5.2
2. 補償経費等	< 1,069 > 1,093	< 1,060 > 1,085	< △ 9 > △ 8	< △ 0.8 > △ 0.7
(1) 施設の借料	1,047	1,038	△ 9	△ 0.9
土地等の借料	1,021	1,030	8	0.8
その他(道路使用等)	26	8	△ 18	△ 68.3
(2) 漁業補償	12	12	0	3.9
(3) その他の補償等	< 10 > 34	< 9 > 34	< 0 > 0	< △ 1.7 > 2.1
3. 基地従業員関係	487	501	13	2.8
4. 提供施設の整備	< 39 > 65	< 49 > 57	< 10 > △ 9	< 25.5 > △ 13.1
合 計	< 1,865 > 1,930	< 1,884 > 1,895	< 18 > △ 35	< 1.0 > △ 1.8

注：1 上段<>内は、契約ベースである。

2 計数は、四捨五入によっているの符合しないことがある。

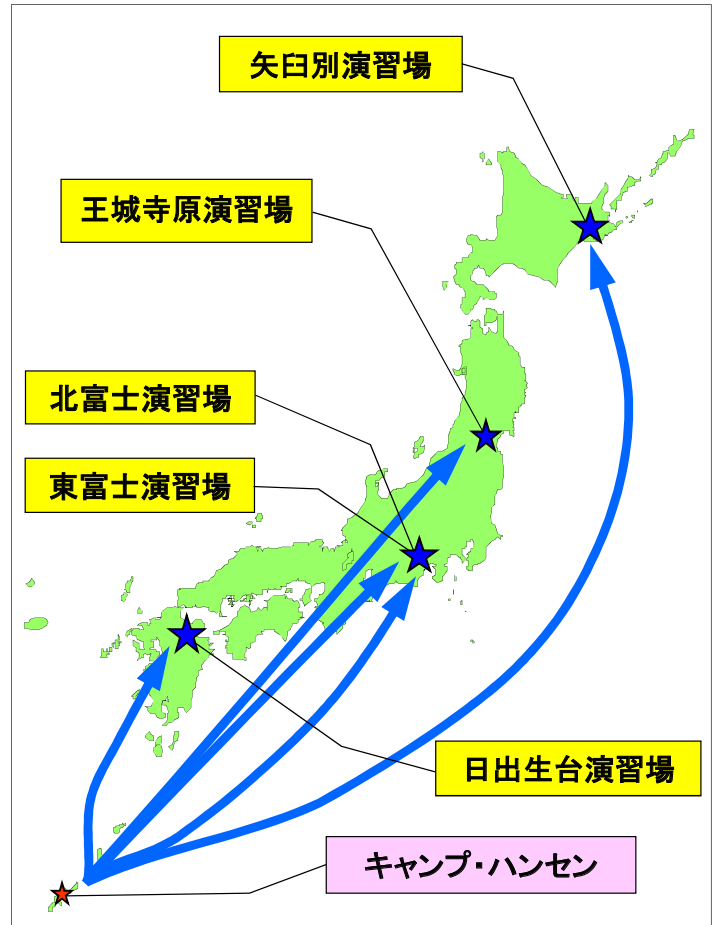
県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施への取り組み状況

キャンプ・ハンセンにおいて実施されていた、いわゆる沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練については、平成8年度の日米特別行動委員会（SACO）の最終報告に基づき、沖縄県民の負担軽減を図るとの考えから、関係自治体等の理解と協力を得て、平成9年度以降、本土5演習場（矢臼別、王城寺原、北富士、東富士及び日出生台の各自衛隊演習場）で分散して実施しており、これまでに81回実施されています。

沖縄防衛局では、在沖米海兵隊がこの訓練を実施するにあたって必要な物資等の円滑な輸送のため、米軍や輸送業者と打合せを重ね、輸送状況を確認するなどの業務を行っています。

令和2年度の訓練計画については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、第1回（北富士）の訓練は延期され、第2回（矢臼別）の訓練は中止となりました。第3回（東富士）については、以下のとおり実施しております。なお、第4回の訓練については、現在、日米間において協議中であり、日米協議が整い次第、公表される予定です。

今後とも、本土5カ所の演習場への訓練の分散・実施を行い、沖縄県民の負担軽減に取り組んで参ります。【令和2年10月末時点】



本土5カ所の陸上自衛隊演習場で分散・実施

【令和2年度訓練計画】令和2年6月19日公表		
第1回	北富士演習場（延期）	令和2年 4月～ 6月
第2回	矢臼別演習場	令和2年 7月～ 9月
第3回	東富士演習場	令和2年10月～12月
第4回	調整中	令和3年 1月～ 3月



物資輸送状況



ハイサイくん

「はいさい」に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたらお聞かせください。
 連絡先：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納290-9 沖縄防衛局総務部報道室
 メールアドレス：houdou-ok@okinawa.rdb.mod.go.jp